

平成31年度球美中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 数学
教科担当	金城潤
教科書名	未来へひろがる数学1
副教材名	新数学ノート

はじめに:これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する(本校教育目標:知の側面)ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中学生のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当(教科の先生)は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標→目標を達成するための授業・活動→今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活につながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んでください。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。

教科の学びの習慣は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1. 数学科の学習について

学習のねらい	<p>(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。</p>
授業のすすめ方	<p>(1)まずは、新しい課題について真剣に向き合うことが学習の第一歩です。</p> <p>(2)数学的な用語を理解し、その性質を考えます。</p> <p>(3)数学的に解釈したものを、数学的に表現・処理したりしながら計算問題に取り組みます。</p> <p>(4)多面的に物事を捉え、理由や根拠を論理的に表現することで既習事項を活用し、数学を生活に生かしていけるようにします。</p>

学習上の留意点	(1) 課題で求められている答えや解を適切に捉えること。 (2) 学習の課題を解決するために必要な知識や技能を習得すること。 (3) 課題を解決する過程で、より効率的、理論的な方法を共有し、表現すること。 (4) 足りない知識や新しい解決の方法を見つけること。 (5) 自分の答えを恥ずかしがらずに信じること。
---------	---

2. 評価について

評価方法	<input type="checkbox"/> 成績は、毎学期の定期テストや単元テストの得点、授業中の作業、問答、態度、各種提出物などを総合して評価します。 <input type="checkbox"/> 評価の観点は、「関心・意欲・態度」、「知識・理解」、「技能」、「数学的な見方・考え方」です。 <input type="checkbox"/> 長期休業(夏季・冬季・春季など)を中心に課題を出します。 <input type="checkbox"/> ノートを定期的に点検します。
定期テスト	<input type="checkbox"/> 授業で扱った事項、およびテスト前に指定した範囲から出題されます。 <input type="checkbox"/> テスト範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 <input type="checkbox"/> 高校入試や全国学力学習状況調査で問われる思考力・判断力を問う問題を出題します。

3. 年間指導計画

月	主な学習内容及び項目	備考
4月	1章正の数・負の数	全国学力学種状況調査(3年)
5月	1章正の数・負の数	
6月	2章文字の式	1学期期末テスト6月26日～6月28日
7月	2章文字の式、3章方程式	
8月	3章方程式	実力テスト8月27日～28日
9月	3章方程式、4章変化と対応	
10月	5章平面図形	2学期中間テスト10月15日～16日
11月	5章平面図形	2学期期末テスト11月20日～22日
12月	6章空間図形	
1月	6章空間図形	3学期総合テスト1月9日～10日
2月	7章資料の活用	3学期学年末テスト(1・2年)、2月12日～14日 模擬テスト(3年)2月12日～13日
3月	7章資料の活用	

4. 授業をうける心構え

- チャイムと共に授業が始められるように学習用具を準備しておく。(教科書・ノート・筆記用具・ファイル・ワーク)
- 授業中は先生の話をよく聞き、ノートをきちんと書く。
- 進んで発表し、進んで問題を解く。
- 提出物は提出期限を守って提出する。
- 復習をしっかりとやる。
- ノート(大学ノート、ドット入りのノート)の書き方
 - ・日付とめあて、評価規準B、まとめを書く。
 - ・問題を解くときは、答えだけでなく途中の計算も説明できるように書く。
 - ・先生の説明で大切なことや、友達の発表や意見をノートに書き留める。

5. 家庭学習のアドバイス

- 解けない、わからない問題は、先生や友達に質問してわかるようにする。
- どうしてもわからないときは、教科書や先生の解き方をまねて書く。
- 間違いを恐れない。(授業の間違いで減点することはありません。むしろ努力を認めます。)
- 言われて問題を解くのではなく、積極的にチャレンジする。
- 家庭で復習する。(頑張りノート、ワーク、課題プリントなど)

平成31年度球美中学校各教科シラバス

教科名	中学2年 数学
教科担当	金城潤
教科書名	未来へひろがる数学2
副教材名	新数学ノート

はじめに:これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する(本校教育目標:知の側面)ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中学生のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当(教科の先生)は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標→目標を達成するための授業・活動→今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活につながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んでください。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。

教科の学びの習慣は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1. 数学科の学習について

学習のねらい	<p>(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。</p>
授業のすすめ方	<p>(1)まずは、新しい課題について真剣に向き合うことが学習の第一歩です。</p> <p>(2)数学的な用語を理解し、その性質を考えます。</p> <p>(3)数学的に解釈したものを、数学的に表現・処理したりしながら計算問題に取り組みます。</p> <p>(4)多面的に物事を捉え、理由や根拠を論理的に表現することで既習事項を活用し、数学を生活に生かしていけるようにします。</p>

学習上の留意点	(1) 課題で求められている答えや解を適切に捉えること。 (2) 学習の課題を解決するために必要な知識や技能を習得すること。 (3) 課題を解決する過程で、より効率的、理論的な方法を共有し、表現すること。 (4) 足りない知識や新しい解決の方法を見つけること。 (5) 自分の答えを恥ずかしがらずに信じること。
---------	---

2. 評価について

評価方法	<input type="checkbox"/> 成績は、毎学期の定期テストや単元テストの得点、授業中の作業、問答、態度、各種提出物などを総合して評価します。 <input type="checkbox"/> 評価の観点は、「関心・意欲・態度」、「知識・理解」、「技能」、「数学的な見方・考え方」です。 <input type="checkbox"/> 長期休業(夏季・冬季・春季など)を中心に課題を出します。 <input type="checkbox"/> ノートを定期的に点検します。
定期テスト	<input type="checkbox"/> 授業で扱った事項、およびテスト前に指定した範囲から出題されます。 <input type="checkbox"/> テスト範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 <input type="checkbox"/> 高校入試や全国学力学習状況調査で問われる思考力・判断力を問う問題を出題します。

3. 年間指導計画

月	主な学習内容及び項目	備考
4月	1章式の計算	全国学力学種状況調査(3年)
5月	1章式の計算・2章連立方程式	
6月	2章連立方程式	1学期期末テスト6月26日～6月28日
7月	2章連立方程式、3章一次関数	
8月	3章一次関数	実力テスト8月27日～28日
9月	3章一次関数	
10月	4章図形の調べ方	2学期中間テスト10月15日～16日
11月	5章図形の性質と証明	2学期期末テスト11月20日～22日
12月	5章図形の性質と証明	
1月	5章図形の性質と証明	3学期総合テスト1月9日～10日
2月	6章確率	3学期学年末テスト(1・2年)、2月12日～14日 模擬テスト(3年)2月12日～13日
3月	6章確率	

4. 授業をうける心構え

- チャイムと共に授業が始められるように学習用具を準備しておく。(教科書・ノート・筆記用具・ファイル・ワーク)
- 授業中は先生の話をよく聞き、ノートをきちんと書く。
- 進んで発表し、進んで問題を解く。
- 提出物は提出期限を守って提出する。
- 復習をしっかりとやる。
- ノート(大学ノート、ドット入りのノート)の書き方
 - ・日付とめあて、評価規準B、まとめを書く。
 - ・問題を解くときは、答えだけでなく途中の計算も説明できるように書く。
 - ・先生の説明で大切なことや、友達の発表や意見をノートに書き留める。

5. 家庭学習のアドバイス

- 解けない、わからない問題は、先生や友達に質問してわかるようにする。
- どうしてもわからないときは、教科書や先生の解き方をまねて書く。
- 間違いを恐れない。(授業の間違いで減点することはありません。むしろ努力を認めます。)
- 言われて問題を解くのではなく、積極的にチャレンジする。
- 家庭で復習する。(頑張りノート、ワーク、課題プリントなど)

平成31年度球美中学校各教科シラバス

教科名	中学3年 数学
教科担当	金城潤
教科書名	未来へひろがる数学3
副教材名	新数学ノート

はじめに:これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する(本校教育目標:知の側面)ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中学生のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当(教科の先生)は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標→目標を達成するための授業・活動→今日の目標が達成できたかまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活につながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んでください。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。

教科の学びの習慣は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1. 数学科の学習について

学習のねらい	<p>(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。</p>
授業のすすめ方	<p>(1)まずは、新しい課題について真剣に向き合うことが学習の第一歩です。</p> <p>(2)数学的な用語を理解し、その性質を考えます。</p> <p>(3)数学的に解釈したものを、数学的に表現・処理したりしながら計算問題に取り組みます。</p> <p>(4)多面的に物事を捉え、理由や根拠を論理的に表現することで既習事項を活用し、数学を生活に生かしていけるようにします。</p>

学習上の留意点	(1) 課題で求められている答えや解を適切に捉えること。 (2) 学習の課題を解決するために必要な知識や技能を習得すること。 (3) 課題を解決する過程で、より効率的、理論的な方法を共有し、表現すること。 (4) 足りない知識や新しい解決の方法を見つけること。 (5) 自分の答えを恥ずかしがらずに信じること。
---------	---

2. 評価について

評価方法	<input type="checkbox"/> 成績は、毎学期の定期テストや単元テストの得点、授業中の作業、問答、態度、各種提出物などを総合して評価します。 <input type="checkbox"/> 評価の観点は、「関心・意欲・態度」、「知識・理解」、「技能」、「数学的な見方・考え方」です。 <input type="checkbox"/> 長期休業(夏季・冬季・春季など)を中心に課題を出します。 <input type="checkbox"/> ノートを定期的に点検します。
定期テスト	<input type="checkbox"/> 授業で扱った事項、およびテスト前に指定した範囲から出題されます。 <input type="checkbox"/> テスト範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 <input type="checkbox"/> 高校入試や全国学力学習状況調査で問われる思考力・判断力を問う問題を出題します。

3. 年間指導計画

月	主な学習内容及び項目	備考
4月	全国学力学習状況調査対策 1章式の展開と因数分解	全国学力学種状況調査(3年)
5月	1章式の展開と因数分解	
6月	2章平方根	1学期期末テスト6月26日~6月28日
7月	2章平方根、3章二次方程式	
8月	3章二次方程式	実力テスト8月27日~28日
9月	3章二次方程式、4章 $y=ax^2$	
10月	4章 $y=ax^2$	2学期中間テスト10月15日~16日
11月	5章図形と相似	2学期期末テスト11月20日~22日
12月	5章図形と相似、6章円の性質	
1月	連携入試対策、7章三平方の定理	3学期総合テスト1月9日~10日
2月	7章三平方の定理 8章標本調査	3学期学年末テスト(1・2年)、2月12日~14日 模擬テスト(3年)2月12日~13日
3月	一般入試対策	

4. 授業をうける心構え

- チャイムと共に授業が始められるように学習用具を準備しておく。(教科書・ノート・筆記用具・ファイル・ワーク)
- 授業中は先生の話をよく聞き、ノートをきちんと書く。
- 進んで発表し、進んで問題を解く。
- 提出物は提出期限を守って提出する。
- 復習をしっかりとやる。
- ノート(大学ノート、ドット入りのノート)の書き方
 - ・日付とめあて、評価規準B、まとめを書く。
 - ・問題を解くときは、答えだけでなく途中の計算も説明できるように書く。
 - ・先生の説明で大切なことや、友達の発表や意見をノートに書き留める。

5. 家庭学習のアドバイス

- 解けない、わからない問題は、先生や友達に質問してわかるようにする。
- どうしてもわからないときは、教科書や先生の解き方をまねて書く。
- 間違いを恐れない。(授業の間違いで減点することはありません。むしろ努力を認めます。)
- 言われて問題を解くのではなく、積極的にチャレンジする。
- 家庭で復習する。(頑張りノート、ワーク、課題プリントなど)